

活性化施策の体系表(1/3)

方針		計画の目標	事業	具体的な取り組み案	実施主体
方針1	他の交通機関に対する競争力の向上	輸送サービスの改善	① 企画きっぷの充実と効果的なPR活動	◎沿線内の施設と連携した企画きっぷ等の充実 ○自治体広報誌や新聞折り込み等を活用し、沿線内外に効果的にPR ◎フレンドショップ等の販売拠点の充実 ・沿線のイベントと連携した企画きっぷの検討	神戸電鉄
			② 割引制度等の充実	○自治体広報誌や新聞折り込み等を活用し、沿線内外に効果的にPR(再掲) ・高齢者割引乗車券等の検討 ・エコファミリー制度等、割引制度の検討	神戸電鉄
			③ ダイヤの改善・運行本数見直し等の運行改善	・昼間優等列車運行による速達性向上の検討 ・短編成化等、輸送実態に応じた適正な運行形態の検討	神戸電鉄
			④ 接客サービスの向上	○利用満足度を高めるための社員教育の実施 ○ご利用・ご乗車マナーの向上啓発 ・快適な車内環境の創出(音楽等)の検討	神戸電鉄
			⑤ 利用しやすい駅・快適な駅づくり	○夜間照明の増設等駅施設の改善 ・車両における座席や空調の改良等、快適性向上の検討	神戸電鉄
方針2	駅勢圏(駅の集客範囲)の拡大	駅アクセスの改善と駅の活性化	① 駐停車エリア、駐車場、駐輪場の整備および駅情報・運行情報等の発信	○キス&ライド(送迎)用駐停車スペースの確保 ◎パーク&ライド用駅前駐車場の整備 ○駐輪施設の改善・整備 ○到着時刻の表示された神鉄運行時刻表の作成 ○駐車場・駐輪場等の駅周辺施設案内板の整備	活性化協議会
			② バスとの効果的な接続	○駅でのバス停案内および時刻表の掲示 ・電車発着時刻と整合を図るバスのダイヤの検討 ・駅へのアクセスバスの検討	活性化協議会
			③ 駅前の特色あるイベントの開催	○既存の駅前イベントのPR ・駅前イベントの新たな企画の検討	地域・活性化協議会
			④ 駅の空きスペースの活用	○駅の空きスペースを活かした活性化策の展開(観光案内所等)	地域・活性化協議会

◎:資料-8に示す新たな取り組み事項 ○:実施する事業 ・:検討する事業

活性化施策の体系表(2/3)

方針		計画の目標	事業	具体的な取り組み案	実施主体
方針3	定期利用と交流人口の拡大	定期利用者の増加と新規利用者の開拓	① 沿線立地企業等への栗生線通勤・通学利用のPR	○携帯時刻表の作成・配布によるPR ◎駅とのアクセス交通の支援 ・各種定期券設定の検討	活性化協議会
			② 小中学校等への栗生線利用の促進と支援	◎小中学校の校外学習等の企画・実施サポート ○小学生、園児を対象とした乗り方教室、体験乗車等の実施 ○ギャラリートレイン等の拡充	活性化協議会
			③ 地域間の各イベントとの連携強化	○駅からイベント開催地への誘導 ○加古川線等利用促進・沿線地域活性化協議会イベントとの共催 ○神鉄ハイキングのPR拡大 ・栗生線を利用してイベントに参加した方への特典付与の検討 ・沿線で開催されるイベントと連携した企画きっぷの検討(再掲) ・スポーツイベントとの連携	活性化協議会
			④ 沿線地域における観光資源の魅力的な活用	○観光マップの駅等での配布 ○認知されていない観光資源の活用 ◎沿線内の施設と連携した企画きっぷ等の充実(再掲)	活性化協議会
			⑤ 魅力的な車窓からの景観づくり	◎沿線に植樹・植栽等を実施 ○車窓からのフォトコンテストの実施	活性化協議会
			⑥ 鉄道に関するイベントの開催	○神鉄トレインフェスティバルの拡大実施 ○ミステリートレインの拡大実施	神戸電鉄
			⑦ ホームページ等の広報により栗生線の魅力を発信	○おでかけガイドの充実 ○神戸電鉄栗生線活性化協議会ホームページの沿線情報、イベント情報、観光資源情報等の充実	活性化協議会

◎：資料-8に示す新たな取り組み事項 ○：実施する事業 ・：検討する事業

活性化施策の体系表(3/3)

方針		計画の目標	事業	具体的な取り組み案	実施主体
方針4	公共交通利用行動の喚起	公共交通利用意識の向上	① 企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施	◎沿線企業等に対するエコ通勤への協力要請 ○小学生、園児を対象とした乗り方教室、体験乗車等の実施（再掲） ○転入者に対する公共交通利用案内マップの配布 ○公共交通の利用動機付けパンフレットの作成と配布	活性化協議会
			② 栗生線キャラクター等による活性化のPR	○栗生線キャラクターを活用したPR ○シンボルマークを活用したPRグッズ等の製作 ○沿線の魅力を発信するラッピング列車の運行 ○沿線の特色を生かしたイベント列車の運行	活性化協議会
			③ 沿線自治体職員による公共交通利用率先行動	◎県・市職員等による通勤・出張時の公共交通率先利用の推進	行政職員等
方針5	安全で安定した鉄道輸送サービスの確保	安全で安定した鉄道輸送サービスの確保	① 国庫補助制度も活用した鉄道施設の効果的な更新	○施設の更新・改良による安全性の向上（コンクリート枕木化、橋梁耐震化等）	国、県、沿線3市、神戸電鉄
			② 利用者動向・ニーズに応じた輸送サービスへの改善	○利用者ニーズを把握するための利用者モニター制度を実施	地域・活性化協議会
方針6	沿線住民との協働	沿線住民と一体となった協力体制の構築	① 沿線地域との協力体制の構築	◎地域住民による駅の美化活動やPR等、鉄道愛護意識の醸成 ○ご利用・ご乗車マナーの向上啓発（再掲） ・神戸電鉄の地域との交流を促進する社会貢献活動の検討 ・神鉄サポータークラブ（仮称）の設置の検討	地域・活性化協議会
			② 無人駅のボランティア等による有人化	○ボランティア駅長等による無人駅の活性化 ○駅の空きスペースを活かした活性化策の展開（再掲）	地域・活性化協議会
			③ 企画きっぷの販売や情報発信を行うフレンドショップ(販売拠点)の設置	◎PR協力等によりフレンドショップを拡充	地域・活性化協議会

◎：資料－8に示す新たな取り組み事項 ○：実施する事業 ・：検討する事業